

か け は し

鉄東・北光・北栄・苗穂東地区版



2024年

きょうぎたい

『協議体(生活支援推進連絡会)』の活用

～ 目的：地域で支え合う体制づくりの推進 ～

生活支援体制整備事業は、「介護保険制度」では提供できない生活支援活動や介護認定を受ける前の段階の高齢者に対する生活支援体制整備事業支援の充実を図ることを目的に、コーディネーターが配置されており、地域で支え合う体制づくりを推進する取り組みを進めています。

そもそも協議体とは？



札幌市における生活支援体制整備事業

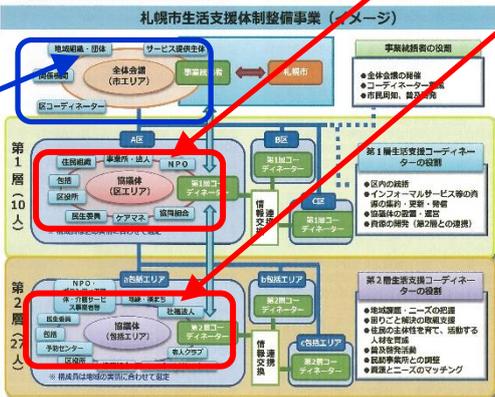
- ①社会資源の把握・資源開発
生活支援に係る様々な情報を把握・整理します。
- ②生活支援ニーズの把握・共有
高齢者の生活に関する困りごとを調べます。
- ③担い手の育成・発掘
生活支援活動の担い手を育成します。
- ④協議体の設置と運営
地域の困りごとやニーズを解決します。

協議体は、生活支援・介護予防サービスのネットワークを図るため、定期的な情報共有と連携強化の場として、地区、区、市で開催しています。

区域・・・担い手養成や地域資源の開発などの住民主体の支え合い活動を推進するために区域での協議を進める。

地区(エリア)・・・生きがいや役割を持ち、住み慣れた地域でいつまでも暮らすことができるよう住民主体による支え合い活動を推進する。

参加メンバーは、地域活動者、民生委員、NPO、企業、ボランティア、老人クラブ、社会福祉法人、市・区役所など多様な関係機関が想定されています。協議する内容により参加の依頼を行います。東区域では、学校の生徒さん、先生に参加いただき開催したこともあります。



「札幌市生活支援推進連絡会（市全体会議）」

8月29日（木）札幌市社会福祉総合センターで開催されました。

「高齢者が抱える困りごと。あったら良いなと思う取組みは？」をテーマにグループワークを実施。

次回は1月の予定で実際にできそうなこと、実現に向けた協議などを進めます。

東区域、地区エリアで出された課題や意見を伝える場ともなっています。



鉄東地区 地域のみなさんにお聞きしました！

10月30日、31日に行われた鉄東地区「ふれあいの会」(鉄東地区福祉のまち推進センター主催)にて参加者にアンケート調査をさせていただきました。

皆さんが普段の暮らしの中で困っていることや不安に思っていること、他の人に手を貸せそうなこと・すでに行っている項目についてお聞きしました。



困りごとランキング		手を貸せそうランキング	
1位	スマホやパソコンの操作	1位	買い物の付き添い
2位(同率)	日常的なゴミ出し	2位	話し相手 / 草取り
	電球の交換 / 除雪	3位	日常的なゴミ出し



約30名の方にご回答いただき、「他の人に手を貸せそう・すでに行っている」という方が多くいらっしゃいました。ご近所さんとお電話で「今日これを買ってきてほしい」などとやり取りをしてついでに買い物をしていたり、お家の草取りをしていたり、皆さんの地域での取り組みを把握できました。

今回のアンケート調査で力になってくれる方が多くいることが分かり、生活支援コーディネーターとしてとても心強く感じました。地域で助け合いが広まり、住み慣れた地域で安心して暮らしていけるよう皆さんと一緒に考えていきたいと思えます。

北栄地区くらしのサポーター養成講座 開催！

11月に北栄地区で「東区くらしのサポーター養成講座」を開催しました。全3回コースの入門編では、ゲームなどを交えて受講者同士で交流しながら学びを深めました。受講者から「人のつながりが大切だと実感した、隣近所との付き合いでいかせそう！」と講座での気づきを地域に持ち帰ってくださる受講者もあり、今後の活躍が楽しみとなりました。

また、自らが手を貸して困りごとを解決することはもちろん、自分が知っている情報を提供することで困りごとの解決につなげる姿がありました。情報を伝えることもサポートの1つという気づきがあり、サポートの幅の広がりを感じました。これからも受講者と顔を合わせ、地域づくりを進めていきたいと思えます。



発行・お問い合わせ先

東区社会福祉協議会 東区北11条東7丁目 東区民センター1階

第2層生活支援コーディネーター 原田 (鉄東・北光・北栄・苗穂東地区担当)

☎ 011-741-6440 FAX 011-721-6444

